

第四次鹿児島市子ども読書活動推進計画(素案)に係るパブリックコメント手続の実施結果について

1 意見の募集期間 令和2年10月1日(木)～10月30日(金)

2 意見の提出者数(件数) 77人(358件)

3 意見の対応状況

(単位:件)

項目 対応区分	1. 第1章 「第四次推進計 画策定にあつ て」について	2. 第2章 「第三次推進計 画期間における 主な取組の成果 と課題」について	3. 第3章 「基本的な考え 方」について	4. 第4章 「子どもの読書 活動推進のため の方策」につい て	5. 第5章 「推進体制」につ いて	6. 第6章 「啓発・広報」に ついて	7. その他	計
A 意見の趣旨等を反映し、計画案に盛り込むもの	1	3	0	6	0	1	1	12
B 意見の趣旨等は、計画素案に盛り込み済みのもの	23	34	23	36	20	18	20	174
C 計画案には盛り込まないもの	2	0	2	0	0	0	1	5
D 具体的な事業等の実施にあたり参考とするもの	6	14	12	27	11	20	8	98
E その他要望・意見等	11	12	10	6	7	9	14	69
計	43	63	47	75	38	48	44	358

パブリックコメント手続で提出された「意見の対応状況」について(令和2年10月1日～10月30日実施)

意見等を受けた人数
77人

項 目	件数
1. 第1章「第四次推進計画策定にあたって」について	43
2. 第2章「第三次推進計画期間における主な取組の成果と課題」について	63
3. 第3章「基本的な考え方」について	47
4. 第4章「子どもの読書活動推進のための方策」について	75
5. 第5章「推進体制」について	38
6. 第6章「啓発・広報」について	48
7 その他	44
合 計	358

対応区分	件数
A 意見の趣旨等を反映し、計画案に盛り込むもの	12
B 意見の趣旨等は、計画素案に盛り込み済みのもの	174
C 計画案に盛り込まないもの	5
D 具体的な事業等の実施にあたり参考とするもの	98
E その他要望・意見等	69
合 計	358

番号	項目番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
1	1	「第四次推進計画策定にあたって」について	現代の社会生活では紙媒体の読書活動普及には限界があると思われる。電子書籍化したものにアクセスできたり、ウェブ配信など時代に即した計画・策定をしていくべきと思われる。	「6 情報通信技術(ICT)を基盤とした先端技術が急速に生活の中に溶け込んできている中で、電子書籍やデジター図書などICT等の活用も推進していく必要があります。」を挿入します。 ※P10【Ⅱ 第三次推進計画期間における課題】	A
2	2	「第三次推進計画期間における主な取組の成果と課題」について	P7 児童図書の貸出冊数、P9 児童・生徒の平均読書冊数、P9 平日一日の読書量が30分以上の児童・生徒の割合の出典名を記載した方がよいと思う。	児童図書の貸出冊数、児童・生徒の平均読書冊数、平日一日の読書量が30分以上の児童・生徒の割合の出典名については、それぞれ「鹿児島市立図書館統計(利用状況)」、「全国学校図書館協議会「学校読書調査」及び市教育委員会調査(市は隔年実施になり、H30は未実施)」、「全国学力・学習状況調査(対象:小学校6年生、中学校3年生)」を挿入します。 ※案P7【成果】児童図書の貸出冊数グラフ ※案P9【成果】児童・生徒の平均読書冊数と平日一日の読書量が30分以上の児童・生徒の割合グラフ	A

番号	項目番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
3	2	「第三次推進計画期間における主な取組の成果と課題」について	課題については、第三次で示していることと、ほとんど同じである。2019年に成立した「視聴覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」(いわゆる読書バリアフリー法)ができたこと、また新型コロナ禍の中で、ギガスクール構想が具体化するなどの新しい時代に即した課題を示してほしい。	障害のある子どもの読書活動を推進するため、「5 障害のある子どもの読書活動を推進するために、障害の特性に応じて施設整備面に配慮するとともに、デージー図書等の収集や活用を図るなど、読書バリアフリーに向けた取組を進める必要があります。」を挿入します。 また、「令和元年 視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律(読書バリアフリー法)公布・施行」を挿入します。 ※P10【Ⅱ 第三次推進計画期間における課題】 ※P2【読書活動推進の流れ】	A
4	2	「第三次推進計画期間における主な取組の成果と課題」について	現在では、オンラインなどが子どもたちに身近になっている時代である。いろいろな施設で本に関われる場所が増えるのはとてもよいと思う。これからも様々な場所で、子どもたちが読書に関われる場所が増えるとありがたい。	「6 情報通信技術(ICT)を基盤とした先端技術が急速に生活の中に溶け込んできている中で、電子書籍やデージー図書などICT等の活用も推進していく必要があります。」を挿入します。 ※P10【Ⅱ 第三次推進計画期間における課題】	A
5	4	「子どもの読書活動推進のための方策」について	P19(3)読書環境の充実 ア資料の充実の3行目 中学生や10代後半の「YA」とは何か分かりにくい。ヤングエイジ?	YA(ヤングアダルト)の注釈を挿入します。 ※案P4【Ⅰ 第三次推進計画期間における主な取組の成果】	A
6	4	「子どもの読書活動推進のための方策」について	インターネットの世界との協調等はいれなくていいのかなとも思う。	「6 情報通信技術(ICT)を基盤とした先端技術が急速に生活の中に溶け込んできている中で、電子書籍やデージー図書などICT等の活用も推進していく必要があります。」を挿入します。 ※P10【Ⅱ 第三次推進計画期間における課題】	A
7	4	「子どもの読書活動推進のための方策」について	地域における子どもの読書活動のところで、コロナ禍での対応を含めて、図書館に電子図書の整備を進めるとの項目を入れてほしい。(学校図書館と市立図書館の貸出券が共通で、学校図書館のカードで市立図書館の電子図書が利用できる熊本市立図書館のような対応を参考に整備してほしい。)	「特定の分野に偏ることなく、幅広く収集するとともに、電子書籍の導入に努めます。」に修正します。 ※P19L16【(3)読書環境の充実 ア資料の充実】	A
8	4	「子どもの読書活動推進のための方策」について	地域における・・・で、障害児への配慮を提案しているが、視覚障害の子どもしか視野に入っていない。たとえば、視覚や聴覚が正常でも、ディスレクシアとよばれるような読書に困難を抱える子どもが増えている。そんな子どもたちのためにも、マルチメディアデージー図書を市立図書館だけでなく、公民館図書室や学校図書館にも配置し、必要な研修を公民館図書室スタッフ・学校司書・特別支援担当教員にも実施してほしい。	障害のある子どもの読書活動を推進するため、「デージー図書をはじめとする録音図書」を挿入します。 ※P21L19【(3)読書環境の充実 ウ障害のある子どものための諸条件の整備】	A

番号	項目番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
9	4	「子どもの読書活動推進のための方策」について	絵本の読み聞かせや語りは、中学校や高等学校でも取り入れたら面白いのではないかと思う。デジター図書の所蔵館の拡大と広報。	障害のある子どもの読書活動を推進するため、「デジター図書をはじめとする録音図書」を挿入します。 ※P21L19【(3)読書環境の充実 ウ障害のある子どものための諸条件の整備】	A
10	4	「子どもの読書活動推進のための方策」について	P14 II 家庭における子どもの読書活動 5行目～図書館・地域公民館～の部分に図書館・まちなか図書館(仮称)・地域公民館～として、新しく天文館に誕生する市民図書館を入れるとよい。	「オ まちなか図書館(仮称)の開館(予定) 子ども連れで訪れ、子ども大人も読書活動を楽しめる「まちなか図書館(仮称)」を令和4年春に開館します。」を挿入します。 ※P19L16【(3)読書環境の充実】	A
11	6	「啓発・広報」について	SNSと広報誌だけやっていればいいと感じてしまう。SNSの活用ももちろん大事であるが、マスメディアの活用も図ってほしい。計画の中に、マスメディアの活用もぜひ入れてほしい。	優れた取組や特色ある取組の情報を新聞・テレビ等のマスメディア等に提供し、全市的な広報に努めるため、「2 広報誌・マスメディア等の活用」と修正します。 ※案P28【II 各種情報の収集・提供】	A
12	7	その他	障害のある子どもにも読書を、とのことですが、デジター文庫なども各公民館に置いてはと思う。	障害のある子どもの読書活動を推進するため、「デジター図書をはじめとする録音図書」を挿入します。 ※P21L19【(3)読書環境の充実 ウ障害のある子どものための諸条件の整備】	A
13	1	「第四次推進計画策定にあたって」について	読書により言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものとしていく方向性は理解できる。	賛同のご意見として承ります。	B
14	1	「第四次推進計画策定にあたって」について	本を読むことは大事と両親も学校の先生方もよく言っている。言われなくても好きな本は何度でも読むのにと感じてしまう。 この計画で第四次となっていたけど、これまで一度もこんな計画を知らなかった。先生方も両親も「感覚的に本を読みなさい」とか言っていたわけではないんだなと思った。いろいろなきまりの中で、私たちは学んでいるんだなと感じた。	賛同のご意見として承ります。	B
15	1	「第四次推進計画策定にあたって」について	子どもたちにとって読書活動は、なくてはならないものですが、第5次鹿児島市総合計画において「子どもの読書活動の推進」が位置付けられていることは、ありがたい。	賛同のご意見として承ります。	B

番号	項目番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
16	1	「第四次推進計画策定にあたって」について	活字ばなれが言われるこの頃であるが、子どもの読書活動(活字との関わり)の実態は、どのような状況なのか、把握と公開(公表)を基本に策定されていると思う。その明示が必要ではないか。	「第2章 第三次推進計画期間における主な取組の成果と課題」の「Ⅱ 第三次推進計画期間における課題」の中に、盛り込んでおります。	B
17	1	「第四次推進計画策定にあたって」について	社会全体で本を読むといった習慣がなくなっている。このような中で、幼少期から本に慣れ親しませることは、大人になってからも本を読むと思われる。ぜひ、子どもの読書活動を進めてほしい。	賛同のご意見として承ります。	B
18	1	「第四次推進計画策定にあたって」について	本市のこれまでの読書活動推進計画を十分に踏まえて策定されていると思う。	賛同のご意見として承ります。	B
19	1	「第四次推進計画策定にあたって」について	内容が的確である。	賛同のご意見として承ります。	B
20	1	「第四次推進計画策定にあたって」について	国や県の第四次基本計画策定も受けて、今回、本市の推進計画を策定するということをふれたらどうだろうか。	「第1章 第四次推進計画策定にあたって」において、国や県の策定状況と本市のこれまでの計画の経緯について盛り込んでおります。	B
21	1	「第四次推進計画策定にあたって」について	各市町村の推進計画策定期間がばらばらではあるが、本市の計画に国・県の第四次の改訂のポイントをどのようにからめていくか。	国や県の推進計画における改訂のポイントを踏まえ、本市の計画を策定しております。	B
22	1	「第四次推進計画策定にあたって」について	子どもの読書について、今一番大事なのは読書、ひいては読む力の格差の問題だと思う。熱心な親は、子どもが幼い時から図書館、文庫などに出かけ、おはなし会に参加したり、毎週絵本を借りて家庭で毎晩読み聞かせをしている。	賛同のご意見として承ります。	B
23	1	「第四次推進計画策定にあたって」について	初めてこんな計画があることを知った。日頃、図書館が近いため、よく出かけている。読書をするのは、本当に大切だと思う。詳しいことは、分からないが、この案を見せていただき、作成される皆様の思いが伝わってきた。ぜひ、多くの方に浸透していくことを願っている。	賛同のご意見として承ります。	B
24	1	「第四次推進計画策定にあたって」について	これからの子どもたちにとって読書はとても必要だと思う。第四次推進計画策定について、読書というのは頭で想像したり、考えたり、いろいろな面で大事だと思う。この計画は、とてもよいと思う。	賛同のご意見として承ります。	B

番号	項目番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
25	1	「第四次推進計画策定にあたって」について	子どもたちのために、読書活動を深めることはよいと思う。言葉(正しい言葉、会話のやりとり)を楽しめ、一つの場面から自ら想像をふくらませる楽しさを絵本などが教えてくれていると思うので。	賛同のご意見として承ります。	B
26	1	「第四次推進計画策定にあたって」について	第三次をうけて、引き続き推進していくこと。状況を踏まえ、さらに推進してほしい。	賛同のご意見として承ります。	B
27	1	「第四次推進計画策定にあたって」について	人にとって読書というのはとても大事だと思う。読書をすることによって、新しい学びがあるのはもちろん、自分の中にある考え方を整理し、見直すことにもつながる。まだまだ成長できる子どもにとって、読書をすることは、これからの未来をよりよいものにしてくれると思う。	賛同のご意見として承ります。	B
28	1	「第四次推進計画策定にあたって」について	時代にあった計画を、一定期間ごとに見直すことはよいと思う。	賛同のご意見として承ります。	B
29	1	「第四次推進計画策定にあたって」について	SNSや映像による二次元の世界が広がる中、字を読み、言葉から想像をめぐらせて、物語を楽しむことは、難しい時代となってきた。その中で、時代にあった推進計画を策定することは、とても有意義だと思う。	賛同のご意見として承ります。	B
30	1	「第四次推進計画策定にあたって」について	鹿児島市の読書推進の取組は素晴らしいと思う。保護者や子どもの読書に対する意識も他県より高いと感じる。引き続き、改善しながら読書活動推進計画を実施していただけたらと思う。	賛同のご意見として承ります。	B
31	1	「第四次推進計画策定にあたって」について	本市において図書館、地域公民館図書室等で子どもの読書習慣の形成や読書活動のための様々な取組等が行われており、その充実のための計画策定には賛同する。	賛同のご意見として承ります。	B
32	1	「第四次推進計画策定にあたって」について	平成17年度から5年毎に計画を策定され、その成果が表れてきていると思う。	賛同のご意見として承ります。	B
33	1	「第四次推進計画策定にあたって」について	策定の趣旨が、法律の意向に合致し、目的が明確にとらえられた。今年新型コロナウイルスにより、人々の生活様式が大きく変化した。学校が休校になり、図書館も臨時休館というように、子どもたちの読書活動も従来のように行えない場合もあった。計画期間は子どもたちにとって新たな読書活動を模索し、計画していく意味のある5年間になると思う。	賛同のご意見として承ります。	B
34	1	「第四次推進計画策定にあたって」について	何のために子どもの読書活動の推進に取り組むのか、もっと明確にした方がよいのでは。	「I 策定の趣旨」の中に、子どもの読書活動の必要性について盛り込んでおります。	B

番号	項目番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
35	1	「第四次推進計画策定にあたって」について	第四次推進計画の趣旨は、とても大事なことだと思う。	賛同のご意見として承ります。	B
36	2	「第三次推進計画期間における主な取組の成果と課題」について	成果と課題が明確に示され、課題等が第四次推進計画に生かされていくことと思う。	賛同のご意見として承ります。	B
37	2	「第三次推進計画期間における主な取組の成果と課題」について	具体的な数値等の標記(明示)が成果や課題の中にあるとよいのではないだろうか。	「I 第三次推進計画期間における主な取組の成果」の中に、グラフ等の数値を盛り込んでおります。	B
38	2	「第三次推進計画期間における主な取組の成果と課題」について	学校では委員会や職員による読み聞かせができた。たくさん本にふれ、新しく出会えるよう工夫することができた。	賛同のご意見として承ります。	B
39	2	「第三次推進計画期間における主な取組の成果と課題」について	特に乳幼児期の絵本の読み聞かせの重要性を痛感している。今、流行となっているディズニーで英語などは、乳幼児期からその発達の段階に即した顕著な取組のひとつと言える。	賛同のご意見として承ります。	B
40	2	「第三次推進計画期間における主な取組の成果と課題」について	蔵書検索システムの活用は、利用者にとって、とてもありがたいシステムである。	賛同のご意見として承ります。	B
41	2	「第三次推進計画期間における主な取組の成果と課題」について	蔵書検索システムは高齢者やシステムに不慣れな方にとっては、ハードルの高い部分となるため、レファレンスに対応できる職員の配置や資質の向上が必須だと思う。「人」でなければ対応できない部分があると思う。(学校司書も含めて)	司書の資質向上については、学校とも連携を図りながら、子どもの読書活動に関する幅広い知識と技能を身に付けるために、研修会の充実に努めることとしております。学校図書館司書においても、同様の取組をいたしております。	B
42	2	「第三次推進計画期間における主な取組の成果と課題」について	子どもの主体的、自発的な読書活動を推進するためには、各施設・学校等での取組はもちろんであり、十分に努力されていると思う。	賛同のご意見として承ります。	B
43	2	「第三次推進計画期間における主な取組の成果と課題」について	小・中学生の平均読書冊数は、全国平均と比べても大きく上回り、不読者の割合も、全国より少ない傾向にある。	賛同のご意見として承ります。	B
44	2	「第三次推進計画期間における主な取組の成果と課題」について	中学生や高校生のビブリオバトルは、本に目を向けさせるよい取組である。	賛同のご意見として承ります。	B

番号	項目番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
45	2	「第三次推進計画期間における主な取組の成果と課題」について	記載されている内容(成果と課題)が分かりやすかった。	賛同のご意見として承ります。	B
46	2	「第三次推進計画期間における主な取組の成果と課題」について	家庭・地域や関係機関等のそれぞれの成果と課題を記入されており、分かりやすいと思った。	賛同のご意見として承ります。	B
47	2	「第三次推進計画期間における主な取組の成果と課題」について	乳幼児から読書習慣を形成することは、大切だと思う。	賛同の意見として承ります。	B
48	2	「第三次推進計画期間における主な取組の成果と課題」について	地域や学校等で様々な取組がなされ、読書活動の充実につながっていると思う。	賛同の意見として承ります。	B
49	2	「第三次推進計画期間における主な取組の成果と課題」について	色々な成果が出ていて、素晴らしいと思います。課題も適切だと思う。	賛同の意見として承ります。	B
50	2	「第三次推進計画期間における主な取組の成果と課題」について	様々な場所で、本に触れる機会を作っていて、その多さに驚いた。私も絵本ガイドなど参考にした。	賛同のご意見として承ります。	B
51	2	「第三次推進計画期間における主な取組の成果と課題」について	子どもが本に触れるにあたり、大人も一緒に知り、楽しむことが大切だと思う。	保護者への啓発や、家族で読書に親しむ機会の充実を図ることにより、保護者が読書の姿を子どもに見せたり、子どもと一緒に図書館等に行ったりするなど、家族で読書に親しむ環境づくりに努めることとしております。	B
52	2	「第三次推進計画期間における主な取組の成果と課題」について	あらゆる場所(施設)において、成果が出ていることが分かる。写真付きでよいと思う。	賛同のご意見として承ります。	B
53	2	「第三次推進計画期間における主な取組の成果と課題」について	家庭・地域・学校において様々な取組がなされており、図書館等の利用率も若干ではあるが高くなってきている。	賛同のご意見として承ります。	B
54	2	「第三次推進計画期間における主な取組の成果と課題」について	読書活動推進のために、定期的な読み聞かせやおはなし会の実施、相互貸借、朝読書等たくさんの方がされていると知った。	賛同のご意見として承ります。	B
55	2	「第三次推進計画期間における主な取組の成果と課題」について	私自身、学生の頃、あまり本は読まなかったが、朝読書の時間は本を読み、その時間は心が落ち着き、好きだった。これからはいろいろな取組を行い、本に触れる機会を設けていただけたらうれしい。	賛同のご意見として承ります。	B

番号	項目番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
56	2	「第三次推進計画期間における主な取組の成果と課題」について	子どもの読書活動を推進するには、どうしても保護者の協力が不可欠だと思う。なので、保護者向けに「子どもの読書活動の意義や必要性について学習機会を拡充したり、発達段階ごとの特徴を考慮した様々な本を紹介したりする」ことは、とても重要だと思う。	賛同のご意見として承ります。	B
57	2	「第三次推進計画期間における主な取組の成果と課題」について	小・中学校の読書量が多いことは、取組の成果として認められると思います。ただ、それをより高学年にまで広げていく施策は必要。	賛同のご意見として承ります。	B
58	2	「第三次推進計画期間における主な取組の成果と課題」について	成果と課題が、よくまとめられている。	賛同のご意見として承ります。	B
59	2	「第三次推進計画期間における主な取組の成果と課題」について	学校で行われる20分の読書は、自分の興味のあることに自然に気づききっかけになっていると思うので、とてもよいことだと思う。	賛同のご意見として承ります。	B
60	2	「第三次推進計画期間における主な取組の成果と課題」について	よく整理され、成果と課題が明示されている。	賛同のご意見として承ります。	B
61	2	「第三次推進計画期間における主な取組の成果と課題」について	全校一斉読書、おはなし会、移動図書など、学校と連携して読書活動の推進を図ってきたことが、大きく成果に表れてきたことは素晴らしいと感じる。	賛同のご意見として承ります。	B
62	2	「第三次推進計画期間における主な取組の成果と課題」について	小学生から中学生へ、中学生から高校生と年齢が上がるにつれ、読書離れが起こる。小学生のうちに、しっかり読書習慣をつけたい。	賛同のご意見として承ります。	B
63	2	「第三次推進計画期間における主な取組の成果と課題」について	子どもが本に興味をもってもらうためには、誰でも来やすい環境をつくるのが大切だと思う。子どもの年齢に応じた、きめ細かい学習機会が必要だと思う。	賛同のご意見として承ります。	B
64	2	「第三次推進計画期間における主な取組の成果と課題」について	図書館と地域公民館図書室をオンラインで結ぶ蔵書検索システムが充実しており、予約情報等が分かりやすく、使いやすくなったと思う。	賛同のご意見として承ります。	B
65	2	「第三次推進計画期間における主な取組の成果と課題」について	様々な取組が、全国平均を大きく上回る成果につながっているのではないかとと思う。ただ、読書会やサークルを利用する保護者や子どもが固定しているのではと懸念する。底辺拡大のための取組が、今後必要だと思う。	賛同のご意見として承ります。	B

番号	項目番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
66	2	「第三次推進計画期間における主な取組の成果と課題」について	小さい子どもの保護者の考え方、方向性がキーになるのではないかと。小さい頃から場を与える、また保護者自体がどれだけ興味関心があるかが大切である。	賛同のご意見として承ります。	B
67	2	「第三次推進計画期間における主な取組の成果と課題」について	地域公民館図書室でのおはなし会は、親同士の交流の場になる。小さい子をもつ親は、子育て支援に関するイベントに興味がある方が多いと思う。	賛同のご意見として承ります。	B
68	2	「第三次推進計画期間における主な取組の成果と課題」について	鹿児島市においては、それぞれの年代に合わせた読書活動の取組がしっかり行われていると思う。どうしても大人の方の取組が今一つだと、子どもも興味をもってくれないので、時間を見つけて楽しみを共有するつもりで、難しくとらえずに取り組むことが大切ではないかと思う。	賛同のご意見として承ります。	B
69	2	「第三次推進計画期間における主な取組の成果と課題」について	本を読むことは、策定の趣旨のとおり大切なことだと思う。新しくできる天文館地区の図書館とも連携して、更なる子どもの読書活動の充実をお願いしたい。	賛同のご意見として承ります。	B
70	3	「基本的な考え方」について	「さつまっ子20分読書運動」を乳幼児期から高校生まで発達の段階に即して、実に素晴らしい基本線がまとめられていて感心する。	賛同のご意見として承ります。	B
71	3	「基本的な考え方」について	発達に応じた姿がとても分かりやすいと思う。	賛同のご意見として承ります。	B
72	3	「基本的な考え方」について	第四次推進計画でも「さつまっ子20分間読書」運動を継続して取り組むこととなっているが、「一日に20分の読書」を大いに進めてほしい。	賛同のご意見として承ります。	B
73	3	「基本的な考え方」について	学校生活の中での読書時間も加えて、トータル「20分間」という設定でもよいと考える。	賛同のご意見として承ります。	B
74	3	「基本的な考え方」について	基本的な考え方の中に、各成長段階(乳幼児、小学生など)の目標とする姿が掲げてあり、具体的であると思った。	賛同のご意見として承ります。	B
75	3	「基本的な考え方」について	鹿児島の伝統である「20分読書」をメインに打ち出したことは意義あることである。	賛同のご意見として承ります。	B

番号	項目番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
76	3	「基本的な考え方」について	「継続は力なり」、20分読書運動は、本好きな子供の育成の一助となるかも。	賛同のご意見として承ります。	B
77	3	「基本的な考え方」について	「さつまっ子20分読書」運動の内容が分かりやすくよいと思う。	賛同のご意見として承ります。	B
78	3	「基本的な考え方」について	学校、地域、家庭をつなぐ分かりやすい図である。家庭へ呼びかけることの大切さと具体的な方策があるとよい。	賛同のご意見として承ります。	B
79	3	「基本的な考え方」について	成長段階ごとに読書活動の目標が示されており、分かりやすいと感じた。	賛同のご意見として承ります。	B
80	3	「基本的な考え方」について	発達段階を考慮した考え方が、とても分かりやすくまとめられている。	賛同のご意見として承ります。	B
81	3	「基本的な考え方」について	「さつまっ子20分読書」運動の年代別における読書運動は、そのとおりだと思う。そして、これらを実際に行うには、司書や学校の先生がいかにか子どもに様々な分野に興味をもたせることができるかが大切だと思う。	賛同のご意見として承ります。	B
82	3	「基本的な考え方」について	様々な取組が写真で紹介され、具体的な活動内容が分かりやすい。このことにより、見た人の興味をそそることもなると思われる。	賛同のご意見として承ります。	B
83	3	「基本的な考え方」について	どのように取り組めばよいか、分かりやすく書かれていると思う。	賛同のご意見として承ります。	B
84	3	「基本的な考え方」について	椋先生が提唱された「親子20分読書運動」の流れを組んだものとして、大変意義がある活動だと考える。	賛同のご意見として承ります。	B
85	3	「基本的な考え方」について	「さつまっ子20分読書」が中心にすえられていてよい。	賛同のご意見として承ります。	B
86	3	「基本的な考え方」について	物的・人的環境＝一番大切である。三次計画の基本的考え方は正しく、また実績を上げてきているので、それに則って充実させてほしい。	賛同のご意見として承ります。	B

番号	項目番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
87	3	「基本的な考え方」について	棕鳩十さんが提唱された親子で20分間読書運動が、今後も継続され着実に実践されることを期待する。	賛同のご意見として承ります。	B
88	3	「基本的な考え方」について	20分読書運動は、読書活動推進の大きなスローガンであり、継続した運動としていきたい。	賛同のご意見として承ります。	B
89	3	「基本的な考え方」について	スマホなどネット環境の低年齢化が進み、絵本よりも動画に興味を奪われてしまうが、目の健康のためにも、活字を自分の手でめくり、自分のスピードで読む習慣は将来においても大切なことだと思う。「さつまっ子20分読書」運動は、この点において最適なのではと思う。	賛同のご意見として承ります。	B
90	3	「基本的な考え方」について	乳幼児期の本との出会いは、その後の読書活動においても大きなウェイトを占めるため、妊婦や親への啓発がより重要だと思う。	賛同のご意見として承ります	B
91	3	「基本的な考え方」について	「さつまっ子20分読書」運動の更なる啓発と定着をするための取組を推進していく必要がある。	賛同のご意見として承ります。	B
92	3	「基本的な考え方」について	「さつまっ子20分読書」運動は、元々、棕鳩十先生が広げてくださった「母と子の20分間読書」から広がったことをうたってもいいのかなと思う。	賛同のご意見として承ります。本計画の「はじめに」と「読書活動推進の流れ」の中に盛り込んでおります。	B
93	4	「子どもの読書活動推進のための方策」について	いろいろな工夫した取組がのっていて分かりやすい。	賛同のご意見として承ります。	B
94	4	「子どもの読書活動推進のための方策」について	この項目が大人や親、教員等が意識するパイブルとなるところである。よく分かった。	賛同のご意見として承ります。	B
95	4	「子どもの読書活動推進のための方策」について	乳幼児期の子どもたちにとって母親との本を介したふれあいは本当に楽しい幸せな時間である。そんな経験を積み重ねた子どもたちは、本から離れてしまうことはないと思う。	賛同のご意見として承ります。	B
96	4	「子どもの読書活動推進のための方策」について	子どもたちを取り巻く大人の読書をする姿や子どもと一緒に楽しむ読書活動が必要だと思う。	賛同のご意見として承ります。	B
97	4	「子どもの読書活動推進のための方策」について	発達段階に応じた読書活動は、とても大事なことである。特に乳幼児期における読書活動は重要である。	賛同のご意見として承ります。	B

番号	項目番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
98	4	「子どもの読書活動推進のための方策」について	保護者に対して啓発を行い、乳幼児期から本に親しむ環境を整えてほしい。	賛同のご意見として承ります。	B
99	4	「子どもの読書活動推進のための方策」について	家庭や地域の読書活動についても第三次推進計画との違いやこれまでの成果を踏まえた提案がほしい。	第四次推進計画においては、発達段階に応じた取組により読書習慣を形成することや子ども同士で行う活動を通じ、読書への関心を高める取組などを盛り込んでおります。	B
100	4	「子どもの読書活動推進のための方策」について	本市の小・中学生の読書量は全国平均を大きく上回っているが、学校段階が進むにつれて読書の時間や図書館を利用する時間が減少する傾向にあると言われている。これは、どこに課題があるのかを考えた上での方策を講じていくことが必要なのではないか。	子どもの発達段階に応じた図書の紹介や読書の方法に配慮するため、「Ⅴ 子どもの読書への関心を高める取組」を盛り込んでおります。	B
101	4	「子どもの読書活動推進のための方策」について	タブレットを利用したデジータ図書をぜひ活用したい。	「第4章 子どもの読書活動推進のための方策」の「Ⅲ 地域・Ⅳ 学校等における子どもの読書活動」の「(3)読書環境の充実」の障害のある子どものための諸条件の整備の中で、タブレットを利用したデジータ図書等の活用を盛り込んでおります。	B
102	4	「子どもの読書活動推進のための方策」について	中学生からは、部活や学業が忙しくなるとともに、スマホ等に興味がいきがちになる。この時期に、どう読書に向かわせるかということが大きな課題となる。したがって、中学生、高校生に対する対策をもっと具体的に述べてほしい。	「第4章 子どもの読書活動推進のための方策」の「Ⅰ 発達段階に応じた取組」の中に、中・高生の発達段階ごとの特徴や取組例を、また「Ⅴ 子どもの読書への関心を高める取組」の中に、成長に伴い様々な活動に興味・関心が広がる子どもたちに、継続して読書への関心を高めるための活動を盛り込んでおります。	B
103	4	「子どもの読書活動推進のための方策」について	障害のある子にも読書の楽しさを味わえる支援はとてありがたい。	賛同のご意見として承ります。	B
104	4	「子どもの読書活動推進のための方策」について	様々な推進のための方策があり、どれも素晴らしいと思う。ただ、本に近づき始めた子どもを静かにじっと見守る大人も必要だと思う。	賛同のご意見として承ります。	B
105	4	「子どもの読書活動推進のための方策」について	それぞれ表にまとめられており、分かりやすかった。変更点などの記載もあり、進化していることを理解できる。	賛同のご意見として承ります。	B

番号	項目番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
106	4	「子どもの読書活動推進のための方策」について	子どもが乳幼児期から読み聞かせ等、読書に親しむ素地を作っていくためには、親がその重要性に気づいていなければ、ブックスタートの絵本は単なる記念品、お祝い品で終わってしまう気がする。両親学級等で読書環境を整えることの大切さを知る機会があれば、ブックスタート事業などの効果はさらに上がるのではないか。	家庭、地域、学校等における子どもの読書活動の保護者への啓発の中で、各種読書講座や家庭教育学級、研修会等で読書の重要性や必要性について学ぶ機会を提供することとしております。	B
107	4	「子どもの読書活動推進のための方策」について	ボランティアグループの活動は、ありがたい。	賛同のご意見として承ります。	B
108	4	「子どもの読書活動推進のための方策」について	保護者への啓発として、SNSやネット等も活用していきたい。	「第6章 啓発・広報」の「Ⅱ 各種情報の収集・提供」の中で、SNSや広報誌等の活用を盛り込んでおります。	B
109	4	「子どもの読書活動推進のための方策」について	時期に応じた特徴が示されており、特徴に合わせた各種取組が具体的に例示してありよい。	賛同のご意見として承ります。	B
110	4	「子どもの読書活動推進のための方策」について	発達段階ごとの読書活動の特徴やそれに合わせた取組例を見て、とても素晴らしいと感じた。	賛同のご意見として承ります。	B
111	4	「子どもの読書活動推進のための方策」について	家庭・地域・学校において、どこでも本が楽しめる環境にいられるのは、とても幸せなことで、大切に感じる。これだけたくさん取組や考えがある中、本を読まない人がいるのはなぜだろうと考えたとき、その人たちには本より魅力的なものがあるからだと思う。そんな人たちにも興味をもってもらえるように本の楽しさをもっと伝えられたらいいと思う。	賛同のご意見として承ります。読書を楽しむ習慣を形成するために、「第4章 子どもの読書活動推進のための方策」の「Ⅰ 発達段階に応じた取組」の推進に努めてまいります。	B
112	4	「子どもの読書活動推進のための方策」について	家庭・地域・学校における子どもの読書活動に、新しく変更点が「新」と示されているのが分かりやすい。	賛同のご意見として承ります。	B
113	4	「子どもの読書活動推進のための方策」について	発達段階に応じた取組、家庭・学校・地域における子どもの読書活動ともに、特性に応じた方策があって勉強になった。	賛同のご意見として承ります。	B
114	4	「子どもの読書活動推進のための方策」について	乳幼児期～小学校低学年は、比較的時間がとれやすく、取組例を実践することも可能である。しかし、中学年からは読書量も減ってくるので、方策に示されているように、学校や学年間での連携を密にすることが大切になるとされる。	賛同のご意見として承ります。	B
115	4	「子どもの読書活動推進のための方策」について	取組例に書かれている家庭における読書の習慣化が一番大切だと思う。親自身も楽しんで読書をすることが、その子どもの読書の習慣化につながると思う。	賛同のご意見として承ります。	B

番号	項目番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
116	4	「子どもの読書活動推進のための方策」について	各段階や場所によっての特徴が明確に記されていることよって、今後のイベント等での方向性を決めやすくなり、ありがたい。地域公民館に属している図書室にしかできないことは何なのかを考えやすくなった。	賛同のご意見として承ります。	B
117	4	「子どもの読書活動推進のための方策」について	よく整理され、分かりやすい。特に各発達段階ごとの特徴をどのようにとらえ、具体的にどのように取り組んでほしいのかが明確でよい。	賛同のご意見として承ります。	B
118	4	「子どもの読書活動推進のための方策」について	「P20 2 地域公民館における取組」には、各館でこんな取組を推進していくということが明示されていて、分かりやすいと思う。	賛同のご意見として承ります。	B
119	4	「子どもの読書活動推進のための方策」について	乳幼児から高校生まで、発達段階に合わせて記載されており、とても分かりやすいと思う。	賛同のご意見として承ります。	B
120	4	「子どもの読書活動推進のための方策」について	発達段階に応じた、きめ細やかな取組例となっている。	賛同のご意見として承ります。	B
121	4	「子どもの読書活動推進のための方策」について	親も子どものために図書館に行くのではなく、親自身が読書を楽しむ習慣があれば、自然に子どもにその習慣が身につくと思う。	賛同のご意見として承ります。	B
122	4	「子どもの読書活動推進のための方策」について	ブックスタート事業、とても期待できる。親も子も、とても大切な時期に本に触れていくのは、とても素敵なことだと思う。	賛同のご意見として承ります。	B
123	4	「子どもの読書活動推進のための方策」について	読書活動を推進する上での発達段階を踏まえた指標になるので、活用を図りたい。	賛同のご意見として承ります。	B
124	4	「子どもの読書活動推進のための方策」について	子どもの発達段階や今の子どもたちの興味・関心も踏まえた中での蔵書整備が必要であると思う。	賛同のご意見として承ります。	B
125	4	「子どもの読書活動推進のための方策」について	おはなし会などを行い、幼いころから読書(本)に親しむ環境を提供していくことが大切だと思う。	賛同のご意見として承ります。	B
126	4	「子どもの読書活動推進のための方策」について	私も身のまわりにある活動を知り、活用し、子どもと一緒に本に親しみをもちたいと思う。	賛同のご意見として承ります。	B
127	4	「子どもの読書活動推進のための方策」について	SNS等の活用は考えていないのか。(図書の紹介等)	「第6章 啓発・広報」の「Ⅱ 各種情報の収集・提供」の中にSNSの活用を盛り込んでおります。	B

番号	項目番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
128	4	「子どもの読書活動推進のための方策」について	発達段階に応じた取組をしてきた上で、初めて学校へ上がっての読書習慣がそなわってくると思う。	賛同のご意見として承ります。	B
129	5	「推進体制」について	組織を活かして、連携を図りながら読書活動を推進していく気運づくりができればよいと思う。	賛同のご意見として承ります。	B
130	5	「推進体制」について	関係機関や関係団体と連携・協力して「子ども読書推進会議」を設置し、読書活動をより推進してほしい。	賛同のご意見として承ります。	B
131	5	「推進体制」について	第三次推進計画の成果を踏まえたものになっているか。	第三次推進計画の成果等を踏まえ、本計画を策定することとしております。	B
132	5	「推進体制」について	素晴らしい推進体制ができていると思います。要は、この体制が、相互に連携・協力し合いながら、有機的に活動していけるとよいと思う。	賛同のご意見として承ります。	B
133	5	「推進体制」について	推進体制の構造図は見やすいと思う。	賛同のご意見として承ります。	B
134	5	「推進体制」について	内容が的確である。	賛同のご意見として承ります。	B
135	5	「推進体制」について	図で示されていて、全体の関係性がよく分かる。その中で、推進会議の概要も図の中に入れるとよいのではないかと。	賛同のご意見として承ります。推進会議については、「I 推進会議及び推進委員会の設置」の中に盛り込んでおります。	B
136	5	「推進体制」について	子どもの読書の推進のために、地域、学校、家庭が連携・協力をしていけるのは、よいことだと思う。	賛同のご意見として承ります。	B
137	5	「推進体制」について	推進体制については、とても素晴らしい体制だと思う。これからもこういった計画をしていただけると、子どもたちも読書に関われるし、読書で親とのコミュニケーションもとれると思う。	賛同のご意見として承ります。	B
138	5	「推進体制」について	家庭でこの活動を知る大切さを感じた。家庭が知り、協力することで充実すると思った。	賛同のご意見として承ります。	B

番号	項目番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
139	5	「推進体制」について	学校と地域・家庭が、目標や課題を共有し、推進していくための場として推進会議を運営してほしい。	賛同のご意見として承ります。	B
140	5	「推進体制」について	読書活動推進のために、関係機関や関係団体など多くの団体が協力して、一丸となって取り組んでいると知り驚いた。	「Ⅱ 関係機関及び関係団体等との連携・協力」の中で、地域、学校、公共図書館等の関係機関と子どもの読書活動に関わるボランティア等の関係団体が相互に連携・協力しながら取り組むこととしております。	B
141	5	「推進体制」について	記載されている関係機関・団体が相互に連携・協力すれば、子どもの発達にあわせて切れ目なく読書活動の推進を図れると思う。	賛同のご意見として承ります。	B
142	5	「推進体制」について	地域、学校、家庭でつながりながら進められたら素敵だと思う。それぞれの団体が、情報も発信しあっていると市もよさだと感じる。	賛同の意見として承ります。	B
143	5	「推進体制」について	図書室にも保護者の方が大型絵本を借りに来ており、子どもたちへの読み聞かせを行っているようである。ただ、借りに来られる方は、同じ人、団体が多いので、読書活動を行っている団体にはもっと利用してほしいと思う。	賛同のご意見として承ります。	B
144	5	「推進体制」について	家庭・地域・学校等と推進委員会・推進会議の関係が構造的に示され、目標に向かって連携を取りながら取り組む姿が理解しやすく、よいと思う。	賛同のご意見として承ります。	B
145	5	「推進体制」について	家庭、地域、学校等がそれぞれの役割を担い、子どもの学びを支援するために連携、協力している体制ができていることがよく分かった。	賛同のご意見として承ります。	B
146	5	「推進体制」について	様々な組織が、読書活動の意義を理解して連携を深めていけば、全体に普及していくものと信じます。	賛同のご意見として承ります。	B
147	5	「推進体制」について	グランドデザインが分かりやすい。連携・協力の学校、家庭、地域の中で、学校は推進しやすいが、地域は難しそう。	賛同のご意見として承ります。家庭・地域・学校等をはじめ、関係機関及び関係団体等が相互に連携・協力しながら、子どもたちが主体的に読書活動に取り組むことのできる環境づくりを推進してまいります。	B

番号	項目番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
148	5	「推進体制」について	主体的な読書活動という表現が目標となっている点を念頭に置き、子どもたちの発達を皆で支えていきたいと改めて感じた。	賛同のご意見として承ります。	B
149	6	「啓発・広報」について	第三次推進計画の成果を踏まえたものになっているか。	第三次推進計画の成果や課題等を踏まえ、SNSの活用などを新しく挿入し、本計画を策定しております。	B
150	6	「啓発・広報」について	これまでも様々な啓発・広報に取り組んできています。どれだけやったから結果が出たというのではなく、これからも地道に続けていくことが大事だと思う。	賛同のご意見として承ります。	B
151	6	「啓発・広報」について	SNSを活用して情報提供することは、よいことだと思う。	賛同のご意見として承ります。	B
152	6	「啓発・広報」について	今後の取組を期待したい。	賛同のご意見として承ります。	B
153	6	「啓発・広報」について	内容が適切である。	賛同のご意見として承ります。	B
154	6	「啓発・広報」について	「子どもといっしょに読書の日」や「さつまっ子読書週間」の啓発と広報は大切だと思う。	賛同のご意見として承ります。	B
155	6	「啓発・広報」について	「さつまっ子読書習慣」や「子どもといっしょに読書の日」を、みんなで一緒に取り組むことは、よいと思う。	賛同のご意見として承ります。	B
156	6	「啓発・広報」について	私もこれを機会に、アンテナを張り、広報を知り、活用していきたい。	賛同のご意見として承ります。	B
157	6	「啓発・広報」について	毎月23日の「子どもといっしょに読書の日」は定着していると思う。	賛同のご意見として承ります。	B
158	6	「啓発・広報」について	継続的な広報で、気運の醸成に取り組んでいくことが大切である。	賛同のご意見として承ります。	B
159	6	「啓発・広報」について	大人や親も、本が大好きになるような活動をするべきだと思う。	賛同のご意見として承ります。	B

番号	項目番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
160	6	「啓発・広報」について	読書活動啓発のため様々な広報が行われていると知った。	賛同のご意見として承ります。	B
161	6	「啓発・広報」について	素晴らしい取組や活動も知らないと利用、参加ができないので、ぜひ広報に力を入れてほしい。	賛同のご意見として承ります。	B
162	6	「啓発・広報」について	各施設で開催されているおはなし会などは、誰でも気軽に参加することができ、よい読書環境の場だと思う。そういう機会を求めている方が多いように感じているので、より効果的な広報活動に期待する。	賛同のご意見として承ります。	B
163	6	「啓発・広報」について	幅広い広報活動で市民に浸透させることが大事だと思う。スーパーやコンビニに行くように、誰もが図書館にちょっと寄るようになればと思う。タカプラ跡地にできる予定の図書館にも期待する。	賛同のご意見として承ります。	B
164	6	「啓発・広報」について	学校図書館や地域公民館図書室、市立図書館で情報交換や連携を一層密にしたい。	賛同のご意見として承ります。	B
165	6	「啓発・広報」について	子どもが主体的に読書に取り組むためには、サポートが必要なのは分かるが、地域、学校、家庭の連携が重要だと思う。	賛同のご意見として承ります。	B
166	6	「啓発・広報」について	優れた実践等について積極的な広報を行うことで、より活動が推進されていくと思う。	賛同のご意見として承ります。	B
167	7	その他	細かいところまで、しっかりと綿密に計画、検討されている。	賛同のご意見として承ります。	B
168	7	その他	ぜひ、この方針等をすべての関係者の方々に周知してほしい。	賛同のご意見として承ります。	B
169	7	その他	全国の読書習慣と重ねて「さつまっ子読書習慣」を設定しているのが、とてもよいと思う。	賛同のご意見として承ります。	B
170	7	その他	この第四次子ども読書活動推進計画が、少しでも広く周知できるようにしていきたい。	賛同のご意見として承ります。	B

番号	項目番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
171	7	その他	子どもの読書の興味・関心は優れた本との出会いにあると思う。大人の役割は、そのきっかけづくりであると思う。	賛同のご意見として承ります。	B
172	7	その他	本との出会い(きっかけ)は、いつになるか子どもによって違うとは思いますが、それさえあれば、あとはほおっておいても読書量は増えると思う。	「第4章 子どもの読書活動推進のための方策」の「Ⅱ 家庭における子どもの読書活動」の家庭における取組の中に、子どもが読書に親しむきっかけづくりについて盛り込んでおります。	B
173	7	その他	第四次子ども読書活動推進計画の内容は、素晴らしいと思う。	賛同のご意見として承ります。	B
174	7	その他	体系図=概要版として、よくまとめられていると感じる。	賛同のご意見として承ります。	B
175	7	その他	鹿児島市で、子どもたちの成長を豊かにしていくために、このような活動があることを知った。当たり前のように見えていた広報等、このような背景があると知り、子どもと本に触れる時間をより大切にしたいと思う。	賛同のご意見として承ります。	B
176	7	その他	ブックスタート事業でもらった絵本、うちの子どもたちもよく読んでいます。ありがとうございます。	賛同のご意見として承ります。	B
177	7	その他	読書好きの子どもは、親が読書好きであることが多い。読書好きの子どもを育てるためには、親の意識を変えていくことが大切だと思う。	賛同のご意見として承ります。	B
178	7	その他	今後、さらに子どもの読書活動が推進されるよう、計画に沿った取組を楽しみにしている。	賛同のご意見として承ります。	B
179	7	その他	子どもの読書活動について深く考えるいい機会になった。ありがとうございます。	賛同のご意見として承ります。	B
180	7	その他	推進計画が見直され新しくなることで、図書室も現状に満足せず、広報や読書イベントにより力を入れていこうと考える機会になった。	賛同のご意見として承ります。	B
181	7	その他	子どもたちの発達段階に応じて、本の提供、それぞれの段階の子どものグループごとのブックトーク、アニメーション、ビブリオバトル等の環境づくりをすることが大切だと思う。	賛同のご意見として承ります。	B

番号	項目番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
182	7	その他	人間の成長(心の成長)に読書は欠かせないと思う。	賛同のご意見として承ります。	B
183	7	その他	体系図もよくまとめられており、分かりやすいと思う。	賛同のご意見として承ります。	B
184	7	その他	体系図について、家庭欄の「読書通帳」の説明がほしい。また、地域欄の4その他の取組(3)(4)が施設・機関名に留まり、取組の表記がないと思われる。	読書通帳の説明については、「Ⅱ 家庭における子どもの読書活動」の家庭への支援に盛り込んでおります。 子育て支援施設や児童クラブ・児童センターの取組については、「Ⅲ 地域における子どもの読書活動」の「4 その他の取組」に盛り込んでおります。	B
185	7	その他	各学校での取組や読書ボランティアグループ等、たくさんの方々がよく努力されていると思う。	賛同のご意見として承ります。	B
186	7	その他	本の楽しさを知った子どもは、自然に図書室へ足が向き、大人は書店へ立ち寄る。ゲームに興味のある子どもをいかにして本に近づけるか、難しい問題だと思うが、必要なことだと思う。様々な推進活動を実践していくことで、一人でも多くの子どもや親が読書に興味をもち、感動の扉を開いてくれることを信じている。	賛同のご意見として承ります。	B
187	1	「第四次推進計画策定にあたって」について	子どもが本に興味をもつよう、乳幼児期に読み聞かせをする親は多いと思われる。しかし、小学校低学年から高学年になるにつれ、読書離れが増えていくことも事実である。以前テレビで、列車の乗っている親子がおり、その親は座席に座ると鞆から本を出し読みはじめ、子どもも絵本を読みだしたそう。この話をテレビで見たとき、親が「本を読みなさい」と言うだけでなく、親自身も読書を楽しみ、その姿を子どもに見せることで、本離れが少なくなるのではないだろうか。子ども読書活動推進であるが、子どもだけでなく、大人も含めた読書活動を計画してはどうか。	本計画は、本市における子どもの読書活動の推進方策であり、対象を乳幼児期から高校生期までとしております。	C
188	1	「第四次推進計画策定にあたって」について	子どもたちの生活環境は社会情勢のめまぐるしい変化に振り回され、すごい勢いで変わっていると痛感する。5年間の計画より3年間ぐらいの短期計画で効果的な対策をとるべきである。	子ども読書活動推進計画は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」に準じて策定しております。国及び県においても5年の計画期間で策定し、本市の計画においても、これらの計画を基本としていることから、5年間の計画としております。	C